

備前市施策評価シート

(平成21年度事業)

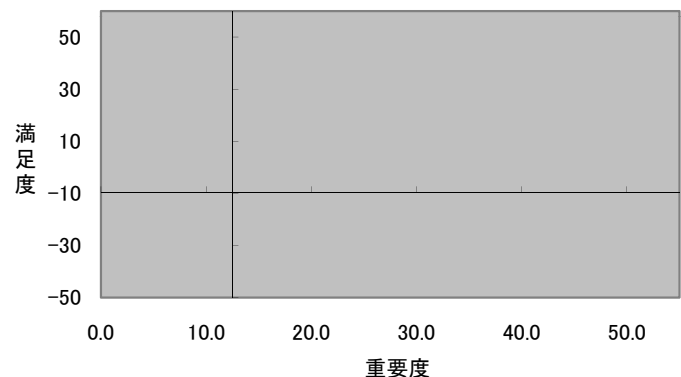
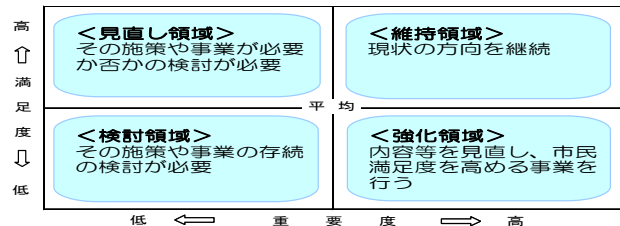
施策名 (小項目)	地域防犯	コード	01-04-03	作成者	市民課長
		役職		氏名	谷本 隆二
		電話		電話	64-1818
		このシート作成に要した時間		2.0 時間	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策(中項目)	安全で安心して暮らせるまちづくり
① 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民が安全で安心して暮らせるよう、地域での犯罪抑止機能の向上を図る。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	近年の犯罪は、空き巣、たかり、ひったくり犯罪のほか、高齢者を対象とした振り込み詐欺、児童・生徒に対する声かけ事案や残虐な殺傷事件などが多発するなど、だれもが被害者となる可能性があります。また、市民同士のつながりが希薄化し、犯罪を未然に防ぐ抑止力が低下しているといわれる中、かつての安全神話も崩れつつあります。幸いにも本市の犯罪件数は減少傾向にありますが、市民一人ひとりが、「自らの安全は自ら守る」という基本に立ち、地域での安全活動の重要性と必要性を強く認識し、犯罪の発生を未然に防止するため、警察や防犯連合会など、関係機関と地域が連携して防犯体制を強化することが必要です。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯意識の高揚</li> <li>情報の提供</li> <li>安全・安心な環境整備</li> <li>地域との協働</li> </ul>	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)				
満足度(%)				



調査結果に対するコメント、市民の反応等	昨年・一昨年に比べると市民意識調査の結果が目標値に近づき良くなってきています。しかしながら、安心して暮らすことなく継続的に、警察や地域防犯活動団体等と連携を密にし、安全安心な地域を目指した施策を展開する必要があります。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H19	H20	H21		H22	
成果指標 全刑法犯認知件数	目標	件	400	400	400	H22	400
	実績	件	449	411	343	H23	400
	達成率	%	112.3	102.8	85.8	H28	400
	ベンチマーク					-	-
参考指標① 治安が悪くなってきていると感じている市民の割合	目標	%	30.0	30.0	30.0	H22	30.0
	実績	%	41.7	40.8	31.8	H23	30.0
	達成率	%	139.0	136.0	106.0	H28	30.0
	ベンチマーク					-	-
参考指標② 防犯灯設置申請による対応率	目標	%	100.0	100.0	100.0	H22	100.0
	実績	%	100.0	100.0	100.0	H23	100.0
	達成率	%	100.0	100.0	100.0	H28	100.0
	ベンチマーク					-	-
参考指標③	目標					H22	
	実績					H23	
	達成率	%				H28	
	ベンチマーク					-	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への貢献度 ☆☆☆☆☆ ~ ☆	経費の性質 義務的 経常的 その他
				平成19年度			平成20年度			平成21年度				
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数		
1 防犯活動啓発活動	B	防犯啓発活動事業	単市	82	2,879	0.31	23	2,139	0.21	23	1,910	0.19	☆☆	経常的
		防犯パトロール事業	単市	20	682	0.08	20	260	0.03	14	309	0.03	☆☆☆☆	経常的
		情報提供事務	単市	0	97	0.01	0	280	0.03	0	179	0.02	☆☆☆	人件費のみ
2 防犯施設整備事業	C	防犯灯管理事業	単市	1,864	1,287	0.17	2,385	1,112	0.12	2,128	1,492	0.15	☆☆☆☆☆	経常的
		地区防犯活動団体支援事業	補助	1,850	3,854	0.38	200	557	0.06	0	979	0.09	☆☆☆☆☆	経常的
3 防犯活動支援事業	A	防犯灯設置事業	単市	667	374	0.05	331	531	0.06	700	808	0.08	☆☆☆☆☆	経常的
		備前防犯連合会事業	単市	1,882	7	0.00	1,455	43	0.00	1,433	21	0.00	☆☆☆☆	その他
		市・和気町国際化対策連絡会	単市	2	0	0.00	2	0	0.00	2	0	0.00	☆☆	その他
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				平成19年度			平成20年度			平成21年度				
				6,367	9,180	1.00	4,416	4,922	0.51	4,300	5,698	0.56		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
警察	犯罪防止	犯罪を未然に防止するために地域住民への情報提供、活動支援
地域住民	防犯体制の強化	組織の確立、警察・市との連携、防犯パトロール等を地域で実施する自主活動

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
<成果指標の妥当性> 1 施策の目的・成果を表現しているか?	3	全刑法犯認知件数の減少は地域防犯を象徴する指標として妥当である。	
<事業構成の妥当性> 2 手段は最適か?	3	安心安全のまちづくりは重要であり、事業構成は妥当である。	
<施策の有効性> 3 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	市民意識調査の結果が好転してきていることから有効な施策であると考えられ、継続して実施する。	
本年度(H22年度)取組内容(課題解決状況)		犯罪防止は警察の業務であるが、犯罪抑止は警察・市・地域が連携して防犯体制を強化することが重要である。このため、防犯意識の高揚を図るとともに地域防犯活動団体への積極的な支援が必要である。	
翌年度(H23年度)取組目標		引き続き警察・市・地域が連携して防犯体制の強化を目指す。なお、地域防犯活動団体や町内会等からの要望の多い防犯灯の設置補助金については、地域防犯意識の高揚のためにも増額をしたい。	
二次評価者コメント		市民が安全で安心して暮らせるよう、行政と関係団体等が連携を密にした事業を展開することが望まれる。また、市民一人ひとりが声を掛け合いながら防犯意識を高め、地域活動の輪を広げていくことが必要である。	
役職 市民生活部長 氏名 野上 茂之		基本施策への貢献度 3 中立	